▲ 自然いっぱいの山梨路を楽しくハイキングしました
（上半期に行ったものの一つ・四季のハイキング 8/5･6）

**財　政さん**

車を買ったが、ローンがずしりと重い。冬のボーナスでカシミアのセーターを買おうと思っているが？…

整備が終らないと補助金が町に入ってこないんだ。

**幸男くん**　ということは、特定財源は一般財源に比べてお金が入ってくるのが遅いということなのか。

## 公共事業の前倒し

**財政さん**　じゃあ、次に支出（歳出）の方をみてみようかな。

**益美ちゃん**　執行率が35％となっているけど、どういう意味なの？

**財政さん**　支出の計画に対して35％使い終ったという意味だよ。

**益美ちゃん**　4月から5年度が始まっていて、半年で35％というとずいぶん低い割合ね。

**財政さん**　そう思うのは、もっともだね。でもね、町の支払いは後払い、つまり工事を業者に発注した場合には、工事が終了してきちんとした工事ということを確認した上で、お金を支払うのが原則なんだ。町はみんなの税金などの大切なお金で支払いをするわけだから、石橋をたたいて渡るというか、慎重に行っているんだよ。だから、執行率自体は少なくても、事業は計画通り順調に進んでいるんだよ。大きなものを挙げると、図書館整備工事は6月に発注済みだし、テニスコートと芝生広場の複合スポーツ施設も今年度中に完成する。それから道路整備も大体計画通りに進んでいるよ。

**幸男くん**　広報10月号で教えてくれた公共事業だね。

**財政さん**　実は、今年度は国や県や町で公共事業の前倒しといって、公共事業をなるべく早く進めようとしているんだ。国は9月末までに今年計画された公共事業の75％を発注しようという目標を立てたんだ。光町は80％契約が済んでいて、国の目標を上回っているんだ。

**幸男くん**　じゃあ、光町のおかげで景気がよくなるかもね。

**財政さん**　ハハハ、そうだといいね。光町は全国で3千以上ある地方公共団体のひとつにすぎないからただちにそうはならないと思うよ。ただ、国をはじめ多くの町が公共事業の前倒しに努力しているということを言いたかったんだ。

## 町債の町の負担

**益美ちゃん**　ところで財政さん、町債でまだ返し終わっていないお金が27億円もあるの？

**財政さん**　うん。町に住んでいる人で割ると、一人当り23万円近くなるのね。

**益美ちゃん**　随分多いのね。

**財政さん**　益美ちゃんは、町の借り入れたお金が多いことを心配しているんだね。でもね、それは心配しなくていいんだよ。町債の残高はこれから毎年返していくんだけれど、全額町が負担するわけではないんだ。

例えば、小学校を建てた時の町債は毎年返す額の70％を、光スポーツ公園を造った時の町債は55％を、地方交付税で国からもらえるんだ。町民会館を建てた時にも町債を借りているけど、毎年返す額の50％を県で補助してもらえるんだ。結局27億5千万円のうち町の実際の負担は約44％にすぎないんだ。

**幸男くん**　じゃあ実際に町が負担しなくちゃいけないお金で返し終ってないのは、12億円より少し多いくらいで、そんなに多くはないということか…（ボクにとっては、すごい大金だけどなあ～）

**財政さん**　そうだね。他に質問がなければ、そろそろ終りにしよう。今回でひととおり財政のことについて説明したことになるから、3人の勉強会をこれで最後にしよう。

**益美ちゃん**　え～、楽しみにしていたのに…。

**幸男くん**　ボクも寂しいよ。

**財政さん**　ありがとう。広報1月号から3人で勉強会をしたのは、幸男くんや益美ちゃんをはじめ多くの人に、町の財政に興味をもってもらって、少しでも知って欲しかったからなんだ。

**益美ちゃん**　とても勉強になったわ。

**幸男くん**　ボクもだよ。

**財政さん**　そうか、よかった。今後もわかりやすい広報を作っていくつもりだから、ぜひ読んでね。じゃあ、2人とも勉強や遊びに頑張ってね。

**益美ちゃん**　は～い、財政さんも元気でね。

**幸男くん**　さようなら。